

主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習 —「伴走者」たる教師が仕組むカリキュラム・デザインとは—

企画者 : 幸阪創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)
司会者 : 和井内良樹 (宇都宮大学)
報告者 : 古見豪基 (埼玉県和光市立第四小学校)
丸山 農 (株式会社Study Valley)
浅部航太 (東京学芸大学)
幸阪創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)
指定討論者: 永田繁雄 (東京学芸大学)

Key word: 主体的な生き方, 伴走者, カリキュラム・デザイン

【概要】

道徳学習にとって、主体的な生き方の探求は道徳学習の根幹を成すと言っても過言ではない。これは「特別な教科 道徳」（以下、道徳科）が教科化される前からも大切にされてきたことである。また、教科化以降も道徳教育、道徳科の共通目標として掲げられてきたのは周知の通りである。

昨今ではテクノロジーの進歩やグローバル化による目まぐるしい環境変化の中で多様な価値観を受け止めながら自己の価値観を主体的に形成していくことが求められており、OEC Dもエージェンシー（行為主体性）の育成のために「学びの羅針盤2030」を開発し、子どもの主体的な学び方、生き方像を提示している。

柄本・松尾ら（2022）は、日本の教育の視座に立って「共同エージェンシー」を「児童生徒を主体に教師が児童生徒と協働して学習を進めることへの態度」と定義する。この教師の態度は、中央教育審議会が「令和の日本型教育」の構築を目指して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を促す教師の態度を「伴走者」と表記したことに類似する。この「伴走者」たる教師の関わりは、主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習においても重要な視点である。私たちは前回の本学会第102回宮崎大会におけるラウンド・テーブルにおいて、教師のデザイン思考を働かせた道徳のカリキュラム・デザインの価値について議論した。教師のデザイン思考は、明確なビジョンと手続きが必要となる一方、子どもとの状況的な対話から可変的な関わりが教師に求められる。これはまさに「伴走者」としての関わりそのものである。

本ラウンド・テーブルでは、「伴走者」たる教師が仕組むカリキュラム・デザインの視点から、主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習に関連した4つの報告をさせていただく。

まず、幸阪から第2学年を対象に①「教科書教材を活用し多面的・多角的思考を働かせながら主体的に生き方を探求する道徳授業実践」を報告する。

次に、丸山会員から第6学年を対象に②「探究学習で用いられる〈課題設定〉→〈情報収集〉→〈整理・分析〉→〈まとめ・表現〉というスパイラルを活用した総合的な学習の時間と関連を図った道徳授業実践」を報告する。

また、古見会員から第6学年を対象に③「教科等横断的な見方・考え方を大切にした探究学習と関連させた道徳授業実践」について報告する。

最後に浅部会員から昨今の教育動向を踏まえ④「主体的な生き方を探求する道徳学習を実現するためのカリキュラム・デザインや教師の関わり」について報告する。

以上、私たちは「伴走者」たる教師の仕組むカリキュラム・デザインの視点で主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習のあり方について議論を深めることで、次世代の道徳学習を展望したいと考える。

プログラム

1. 基調提案

「主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習

—「伴走者」たる教師が仕組むカリキュラム・デザインとは— (幸阪)

- 問題の背景
- 主体的な生き方, 伴走者, デザイン思考の接点

2. 実践報告

(1) 教科書教材を活用し多面的・多角的思考を働かせながら

主体的に生き方を探求する道徳授業実践 (幸阪)

- なぜ今, 「うまくいくかわからないこと」を乗り越える意欲や決断力が必要か
- 金融教育の視点を取り入れた教科書教材の活用と開発
- 批判的発問・投影的発問・分析的発問を織り交ぜたデザイン思考

(2) 探究学習で用いられる学習スパイラルを活用した

総合的な学習の時間と関連を図った道徳授業実践 (丸山)

- 探究学習の概念とその必要性-学習者主体の学びの実現
- 道徳授業に探究学習のスパイラルを活用したデザイン思考
- 「道徳×探究」における、伴走者としての教師のあり方と、児童の主体性の変容

(3) 教科等横断的な見方・考え方を大切にした探究学習と関連させた道徳授業実践 (古見)

- 大テーマを基に子供の価値観と教材がもつ価値観を往還させながら追求し続ける
- 多様な立場からの対話により自己の価値観を深める
- 教科等横断的な見方・考え方・感じ方を大切にした実践を行う探究学習

(4) 主体的な生き方を探求する道徳学習を実現するための

カリキュラム・デザインや教師の関わり (浅部)

- 問題意識をもちやすくする ~ズレと協働の問い
- 主体的な判断を行いやすくする ~選択・判断の追体験
- 生き方を省察しやすくする ~長期的な自己評価

3. 討議

- 実践報告者による相互質問
- 指定討論者 (永田) からの論題提示
- 参会者との質疑, 応答

4. まとめ

○主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習のあり方について

